

フジクラグループの不適切事案に対する当社原子力発電所への影響について

株式会社フジクラ及びグループ会社（以下、「フジクラグループ」という。）から不適切な事案があるとの追加の報告を受けたため、報告内容を踏まえ、当社原子力発電所の使用状況について確認した結果、安全性に問題のないことを確認した。

1. フジクラグループからの追加の報告内容

- ・不適切行為の内容は、光ケーブルの伝送損失測定の一部未実施。
- ・対象製品は、玄海原子力発電所及び川内原子力発電所に納入している光ケーブル。
- ・不適切な事案は、顧客が要求する試験に対してのものであり、製品品質については問題ないと判断。

2. 当社原子力発電所の使用状況

いずれも原子力発電所の安全上重要な設備ではないが、次のとおり、不適切行為があった光ケーブルが使用されていることを確認した。

	使用箇所	使用用途
玄海原子力 発電所	核物質防護設備の一部	入退域者情報、カメラ類、センサー等のデータ伝送
	監視カメラの一部（自主設置）	映像データの伝送
	原子力防災ネットワーク設備の一部	統合原子力防災ネットワークに接続する設備のうち代替緊急時対策所向けのデータ伝送（バックアップルート）
	社内通信回線の一部	社内 OA 機器等の通信回線
川内原子力 発電所	核物質防護設備の一部	入退域者情報、カメラ類、センサー等のデータ伝送
	原子力防災ネットワーク設備の一部	統合原子力防災ネットワークに接続する設備のうち代替緊急時対策所向けのデータ伝送（バックアップルート）
	緊急時運転パラメータ伝送システム（SPDS）の一部	SPDS のうち本店向けのデータ伝送（片ルート）、SPDS-Web データ転送
	社内通信回線の一部	社内 OA 機器等の通信回線
	周辺モニタリング設備の一部	周辺モニタリングデータ伝送

3. 健全性評価結果

いずれも原子力発電所の安全上重要な設備ではなく、当該ケーブルは本件に起因する性能上の不具合は確認されていない。また、今回の不適切な事案について、光ケーブルの性能に影響を及ぼさないことをフジクラグループの社内調査データにより確認し、健全性に問題のないことを確認した。